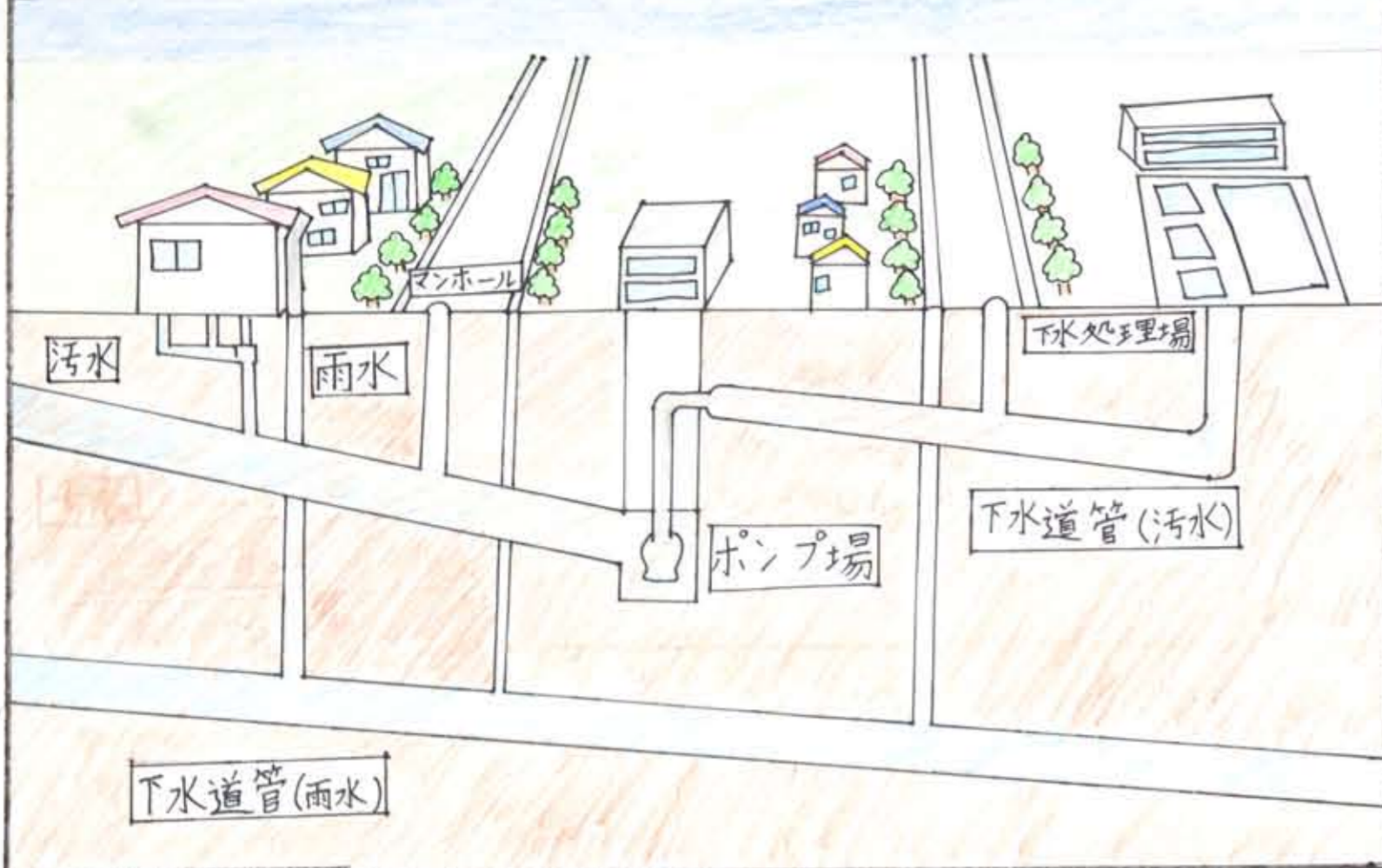


下水道新聞

富士見ヶ丘
小学校
五年
木村 音寧

私達が使った水は、どこへどのように行くの？

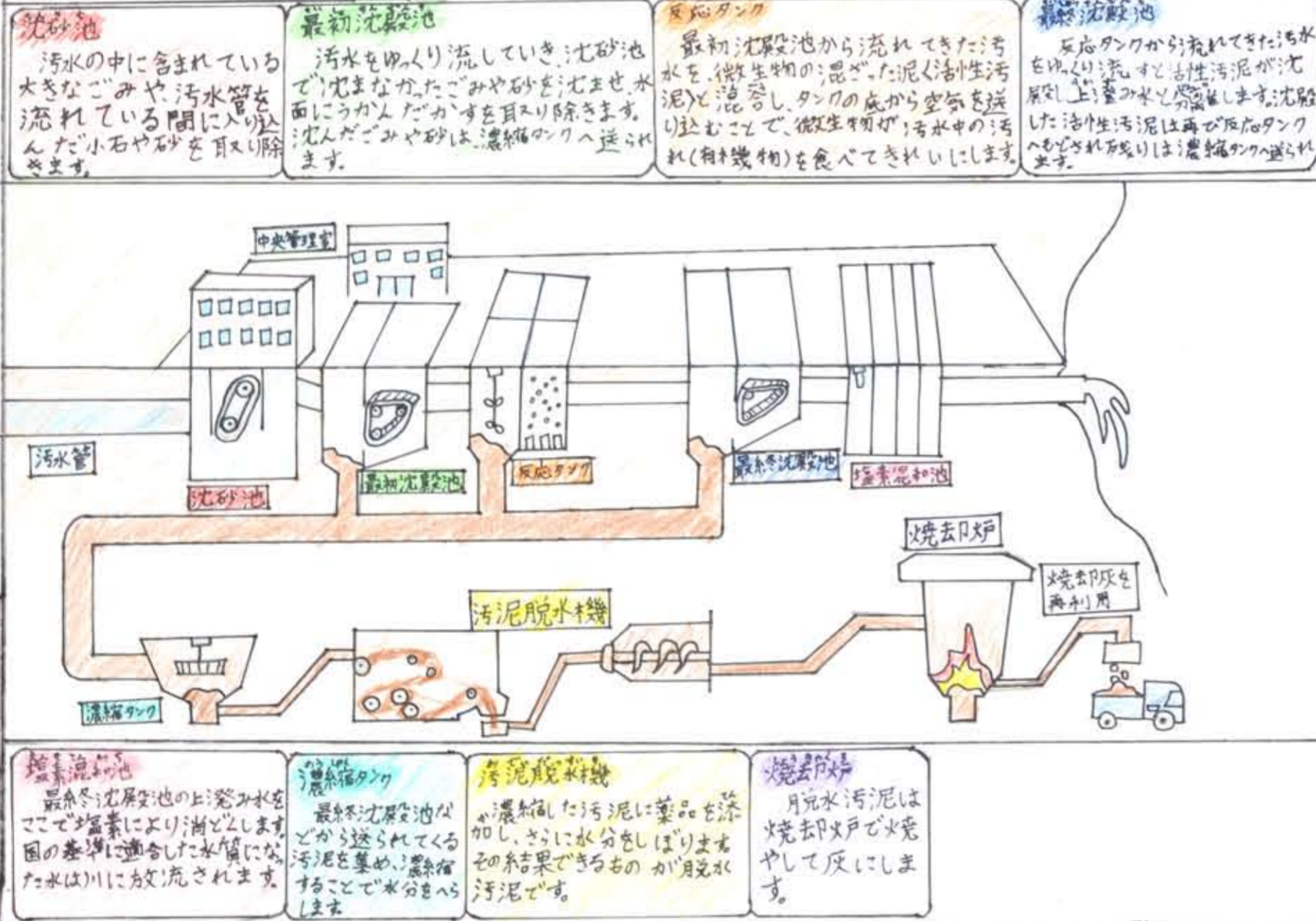
下水処理場までの汚水の流れ



私達が使った水(汚水)は、地下にうめてある下水道管をとおし、下水処理場に運ばれます。下水処理場できれいになった水は、川や湖や海にかえしてきます。下水道管は、汚水が自然にながれるようにかたむけてうめています。そのため、下水道管は、きよりが長くなると深くなるので、と中にポンプ場をつくり、点検や修理がしやすいようにしています。深いところは、地下三十メートル(建物でいうと地下八階くらい)になるところもあります。

私達が使った水は、どのようにしてきれいになっているの？

下水処理場の処理の流れ



下水処理場に運ばれた汚水は、それぞれの役割を持つたそうを通して、きれいになっています。たぐやんのその中で、一番大切なそうは「反応タンク」です。反応タンクは、たぐやんの細菌や原生動物などの微生物が入っている泥(活性汚泥)があり、微生物が生きるので、必要な空気を送っています。反応タンクで最初沈殿池を通った汚水が、活性汚泥と混ざると、微生物の働きで細い細菌が水の中の汚れを食べる。原生動物が細い細菌を食べる。↓後生動物が原生動物を食べる。↓より水がきれいになります。

私達が守るべきルール

ルール①

- 生ゴミなどを流さない
- 調理した油や生ゴミ
- かみの毛
- 水にとけない紙など
- 流すこと

←

下水道管の中で油とゴミが固まり、下水道管が詰まると、台所やトイレの水が流れなくなったり、汚水がマンホールから道路にあふれたりすることがあります。ゴミが機械に絡まると、動かなくなったり、故障したりすることがあります。たとえ、ポンプが故障すると、汚水が下水処理場に運ばれなくなるため、下水道管が詰まった時と同じようなことがおこります。

防ぎ方

- 生ゴミは、三角コーナーや水を切るネットを利用して、水をよく切って、ゴミとして出す。
 - かみの毛は排水口へネットをつけることで、取りのぞけるので、ゴミとして出す。
 - 油は固めたり、新聞紙などでふき取って、ゴミとして出す。
 - 水にとけないティッシュや紙おむつは、ゴミとして出す。
- 危険な物を流さない
- かソリン、灯油、アルコールなど気体に変わりやすいもの
- 流すこと
- 下水道管の中で気体になって爆発するおそれがあります。